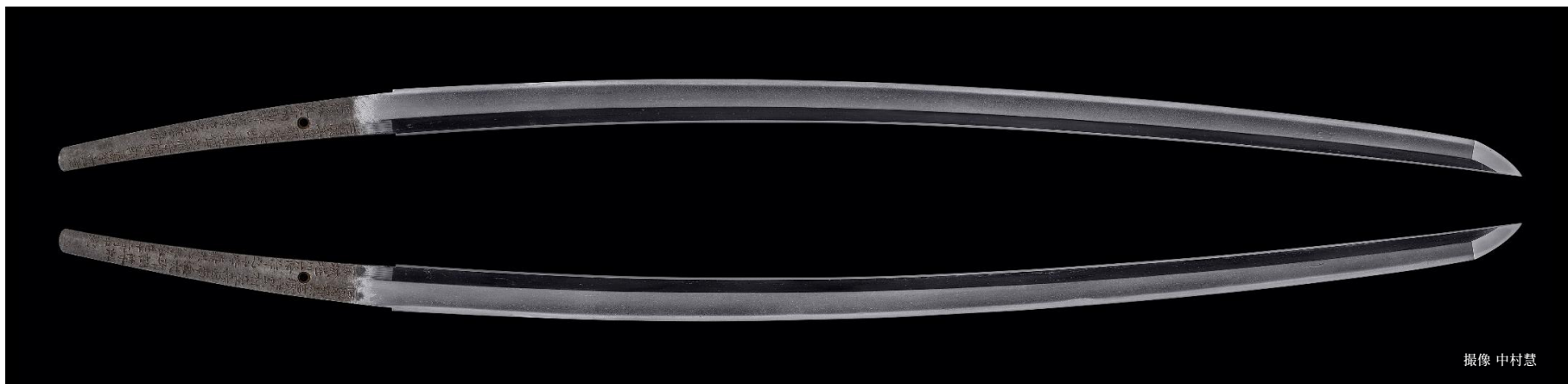




撮像 中村慧

ただいま展示中

刀 銘 ^①土佐国高岡郡春木城主従五位下武蔵守藤原朝臣家重君十一代後
 胤谷協勘解由藤原重之君応需 ^②同国同郡黒岩郷二ツ野村産森岡南海太
 郎朝尊於鳳城堀川一條作之干時嘉永六年癸丑十二月中浣 ^③
^④

高知県立高知城歴史博物館蔵

刀剣の名前は“刀剣の種類”と“銘”を組み合わせて付けられます。上の写真の場合、種類は“刀（打刀とも呼ぶ）”です。銘とは刀剣の茎（なかご、刀剣の握る部品に隠れる部分）に刻まれるサインのこと。刀工の名と制作年月日が刻まれることが多いですが、上の刀では、注文者の名前（^①）、刀工の名（^②）、制作場

所（^③）、制作年月日（^④）が刻まれ、83文字にもなっています。

^②の部分はさらに、生地（同国同郡黒岩郷二ツ野村）、苗字（森岡）、号（南海太郎と朝尊）からなっています。

*種類にはほかに太刀、脇指、短刀、薙刀などがあります。

左に見るように、朝尊は土佐国高岡郡黒岩郷二ツ野（現高知県高岡郡佐川町二ツ野）の生まれです。刀工を志して京に上り、各地を遊歴し、天保年間後半（30代後半）ころには本拠を京に置いたと推定されています。とはいえ土佐人の顧客も多く、時折故郷には帰っていたようです。安政5年（1858）には、故郷二ツ野の鍛冶場の取水地に、その水質を称える石碑を建てています。この碑「剣井碑」は現在も人里離れた竹林の中に静かにたたずんでいます。（崩落の危険があるため立ち入りはご遠慮ください）



青山文庫

〒789-1201
 高知県高岡郡佐川町甲1453-1
 TEL 0889-22-0348

図録も
 あります

刀剣乱舞ONLINE コラボ

- ①等身大パネル設置
- ②さかわさんぽスタンプラリー
- ③オリジナルグッズ

- ・特別展A4クリアファイル★
- ・描き下ろしA4クリアファイル
- ・連携展示A5クリアファイル★
- ・佐川茶缶（白/黒）
- ・特別展ポストカード
- ・特別展A5ノート

★は高知城博・高知歴民館でも販売中



上の写真の部分拡大。硬軟の鉄を交えた大板目が捉えられている。



撮像 中村慧

ただいま展示中

大太刀 銘 南海太郎朝尊鍛之 弘化三年丙午二月日

おおたち めい なんかいたろうともたかこれをきたう こうかさんねんひのえうまにがつひ

高知県立高知城歴史博物館蔵

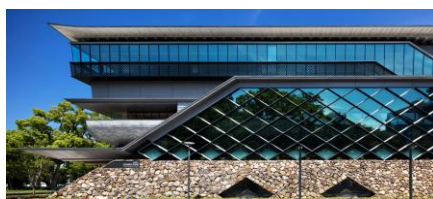
弘化3年（1846）朝尊42歳*の作。全長は187.0cm、重ね（厚さ）は最大1.5cm、重量は4450gもあります。とても大きいので、博物館のケース越しでも、朝尊の特徴的な銘（サイン）が観察しやすい作品です（写真右）。

銘は鑿（たがね）という先の尖った工具を鎚（つち）で叩いて彫られ（切られ）ます。朝尊の銘では、点や終筆（一画の終わり）の鑿が強く打ち込まれて、三角

や四角になることがよくあります。

左の写真は、同時に展示している「刀 銘 南海太郎朝尊 天保五 八月日」です。こちらの銘は、大太刀より細い鑿で切られているため、印象が異なりますが、終筆の三角・四角は健在です。

*朝尊の生年は伝わっていません。ここでは葬地の過去帳「慶応元丑歳（1865）」の部に記された享年61歳を数え年として換算しています。



刀剣乱舞ONLINEコラボ

3階の高知城展望ロビーにて、刀剣男士 南海太郎朝尊（通常）の等身大パネルを展示。高知城天守を背景に記念撮影をどうぞ。



近隣の史跡 高知城

博物館のすぐとなりは高知城。

天守*3層では「刀剣男士 陸奥守吉行・南海太郎朝尊・肥前忠広」の御伴散歩パネルと「特命調査 文久土佐藩」のゲーム背景パネルが展示されています。

右の写真は天守5層からの実際の眺め。

※入城料500円（各種割引、城博とのセット券あり）

※開館時間9:00～17:00（最終入館16:30まで）

⚠ 急な階段を昇り降りする必要があります。

関連グッズ

1階ミュージアムショップにて販売中
①大太刀ポストカード¥165 ②城博の銘の長い方ノート¥350 ③南海太郎朝尊図録¥2500 ④連携展示A5クリアファイル（刀剣男士 南海太郎朝尊）¥400
その他刀剣乱舞万屋本舗商品も！



高知県立
高知城歴史博物館
Kochi Castle Museum of History

〒780-0842 高知県高知市追手筋2-7-5 TEL 088-871-1600

©令和土佐藩・高知県立高知城歴史博物館 配布期間：2025.10.11. - 12.7.



企画展「武市半平太の書画」

10/10 - 1/12 1階企画展示室

令和7年は、土佐勤王党の盟主・武市半平太（瑞山）が没した慶応元年（1865）から、160年の節目を迎えます。

半平太といえば妻・富に宛てた愛情こまやかな手紙がよく知られていますが、書や画を好んだ一面もあり、県内に数多く残されています。本展では、当館蔵及び県内各地から集めた半平太書画や富ゆかりの品々、明治・大正時代に半平太の名誉回復のため行われた顕彰活動をしるばるの関連資料などを展示し、半平太の事績をたどりながら、その160年の歴史に思いをめぐらせる機会にしたいと思ひます。



武市半平太書画（当館蔵）

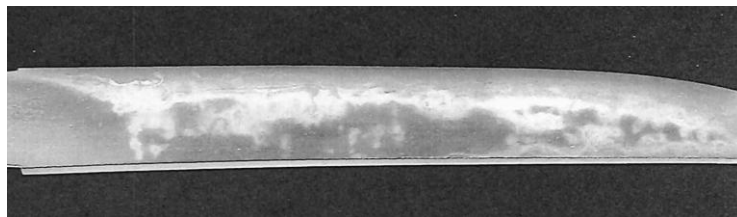


ただいま展示中

短刀 銘 文久二壬戌歳太郎朝尊一生窮力鍛之 土左平井二郎所佩

たんとう めい ぶんきゅうにじんじゅうつさいたろうちょうそん いっしょうのちからをきわめ これをきたう とさひらいじろうしょはい

個人蔵・高知県立歴史民俗資料館寄託



同じ刀の別カット。皆焼刃が鮮明に捉えられています。

文久2年（1862）朝尊が平井収二郎のために鍛えた短刀。「一生窮力鍛之（生涯の力を出し尽くして鍛えた）」という銘からは、朝尊がこの刀にかけた意気込みがうかがわれます。この年、収二郎は16代土佐藩主山内豊範に随行して京に上り、武市半平太と共に公卿・諸藩の士と交わり、精力的に尊王攘夷運動を展開しました。しかし青蓮院宮の令旨によって藩政を改革しようとしたことで前藩主山内豊信（容堂）の怒りをかい、この翌年には切腹を命じられてしまったのです。

刀剣乱舞ONLINEコラボ

2階のエントランスホールにて、刀剣男士 南海太郎朝尊（内番）の等身大パネルを展示（10/11～12/7）



Instagram



X



〒783-0044 高知県南国市岡豊町八幡1099-1 TEL088-862-2211

肥前忠広初代・2代の刀を展示

3階総合展示室もお見逃しなく

3階の総合展示室では、原始・古代から現代に至るまでの高知県の歴史・くらし・文化を、考古・歴史・民俗・美術工芸の資料によって総合的に紹介しています。

こちらで展示しているのが「刀 銘 肥前國住武蔵大掾藤原忠広/（金象嵌）寛文六年十月十九日 武ッ胴截断 山野加右衛門永久（花押）」（当館蔵）。肥前の刀工・忠広（初代）の作で、裏銘に、寛文6年（1666）に行った試斬で、死体の胴2つ分を両断したと書かれています。また「刀 銘 肥前國住近江大掾藤原忠広」（当館蔵）は肥前の刀工・忠広（2代）の作。当館蔵の「堀見家資料」に含まれる刀剣約150振のうちの1振です。

（一部を除き、個人利用の写真撮影OK）

グッズ

2階ミュージアムショップにて販売中

①「刀剣 高知県立歴史民俗資料館収蔵刀剣」¥500 ②「土佐勤王党盟主 武市半平太の手紙 拝啓 おとみ殿」¥200 ③連携展示 A5クリアファイル（刀剣男士 南海太郎朝尊）¥400

その他、刀剣乱舞万屋本舗商品も。



②



①

